

**明** 治維新で活躍した薩摩藩。その藩校で、旧制中学造士館の流れを汲む鹿児島県立甲南高等学校、昭和32年卒八

# からいも勝手組

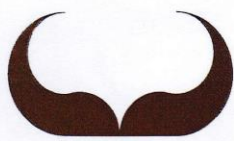


撮影=齊田 勤  
photo by Saïda Tsutomu  
場所=東京・丸の内内の東京會館にて。  
芸術家・猪熊弦一郎氏のモザイク壁画「都市・窓」の前で



(写真左から)

**和田周** (俳優、劇作家、演劇組織「夜の樹」主宰)、  
**古川治次** (鹿島建設社外取締役、三菱商事元副社長、日本郵便元会長)、  
**小野寺美保子** (画家、「蒼騎会」会員)、  
**永山義高** (公益財団法人開高健記念会理事長、朝日新聞社元取締役)



STEAK HOUSE  
**hama**  
シェフコース  
Chef's Course

前菜  
Appetizer

フレッシュフォアグラのソテー  
Sautéed Fresh Foie Gras

お好みの海鮮鉄板料理二品  
Two Articles of Favorite Seafoods

焼き野菜  
Sautéed Vegetable

特撰黒毛和牛サーロインステーキ

又は

特撰黒毛和牛フィレスステーキ

Japanese Beef  
Sirloin Steak or Tenderloin Steak

サラダ  
Salad

ハマ風五目炒飯

又は

ガーリックライス

Hama Style Fried Rice or Garlic Rice

デザート  
Dessert

珈琲  
Coffee

¥18,000

【サ―ビス料・税金別】



【営業時間】

17:00 ~ 23:00

http://www.gnavi.co.jp/hama

■六本木本店 TEL.03-3403-1717

■銀座店 TEL.03-3573-0915

■目黒店 TEL.03-3492-1390

■札幌店 TEL.011-233-1616

■郡山店 TEL.024-935-1182

期八組の仲間だ。上京して60年、傘寿を超えて同期会も解散したのに、それぞれの分野で勝手に走り続け、未だに奮闘している自分の「からいも侍」薩摩おこじょ」の会である。

それがこんな晴れがましい場に引き出されるのは、三菱商事の古川君のせいだ。還暦を前に胃痛を摘出、その後、副社長に就任して仲間を驚かせた。さらに三菱自動車工業の副会長を経て、ゆうちょ銀行会長、合併後の日本郵便会長に就任。「かふじ」の俳号で日経俳壇にもしばしば登場、「かまくら春秋」に随筆

「俳句電報」の連載をするなど、趣味でも八面六臂の活躍。鹿島建設社外取締役も三期目だ。

そんな「異界」の古川君から昼ご飯の誘いがかかる。今回は初秋の一日、全面改築された丸の内は東京會館のバーでランチをしようという粋な呼びかけに、勝手組は押っ取り刀で猪熊弦一郎のロビー壁画の前に集合。演劇部長だった和田君は俳優座付属養成所に入り劇団新人会で活躍後、演劇組織「夜の樹」を創立して小劇場活動へ。大型免許を取り、朝の早いゴミ収集車の運転も。重厚軽妙な不条理劇

の作と演出の公演は今年で36回目。

父君が画家で母校の美術教師でもあった小野寺さんは東京芸大に進み、今もキャンバスとの格闘が続く。春秋の展覧会ごとに画境が微妙に変わるが、父親ゆずりの色彩感覚に、勝手組は「先生（鮫島梓）の黄色だ」などとDNAを面白がる。

朝日新聞に入社した永山と作家・開高健との関係は週刊朝日での駆け出し時代から25年に及んだ。開高記念会は今年没後30年の節目。趣味の紐育男声合唱団東京での活動も、勝手組の声

援で20年を超える。

この日、古川君は薩摩藩士・長澤鼎ゆかりのワイナリー（カリフォルニア州）を訪ねた旅行の土産話。薩摩藩の英国留学生として出国したまま帰国せず、アメリカで「ワイン王」となった長澤の進取の気を讃え合ったが、なんと生誕地はわが母校と同じ町内であることを知って、一同は更なる奮励努力を誓い合った。

からいも勝手組は千客万来。傘寿を過ぎても互いの領域に敬意を払いつつ、勝手に言い合える仲間は、やはり人生の宝物である。

(永山記)

来週からは師走、心忙しい候になります。先日のOB会はお疲れさま。当方は相不変で、最近近は経済界の便利屋になった感じです。

付かぬことですが、最近発売の雑誌・財界の「ゆかいな仲間」欄に、「からいも勝手組」という見出しで、高校の級友と一緒に登場しています。

7月下旬、同誌の村田主幹（オーナー兼編集長）と久し振りに会食。主幹は宮崎の串間市出身ですが、県境を越えた志布志高校から早稲田大学の出身で、鹿児島の話に花が咲き、高校同

級生の消息に話が及びました。

「医者や会社勤めは殆ど第一線から引いたけど、俳優と画家、ジャーナリストは健在だよ。彼ら3人は終生現役じゃないのかな」と話したところ、主幹から、「4人で“愉快的仲間”に出て下さい」という思いがけない要請を受けました。

「お呼びの掛るうちが花」と言いますから、これが最後と思ひ、老体を曝した次第。文章は本来私の役目ですが、ここはプロにお願いしようと思ひ、主幹と語らい、固辞する永山君に懇願した次第です。（一覽下さい。（2019年11月27日）

小林健明様

古川洽次